



川崎市職員労働組合  
清掃支部  
発行  
川崎市川崎区東田町5-1  
市労連会館4階  
電話 044(222)5906  
発行責任者 渋谷 勝美  
編集責任者 田中 慎吾



清掃支部ホームページ  
QRコード



### 自治体政策部

## 環境最新技術とサービスに触れ

5月25日～27日の3日間にわたり、東京都江東区有明にある東京ビッグサイト(東京国際展示場)にて2022年環境展及び2022年地球温暖化防止展(主催・日経ビジネス)が開催され、5月25日に清掃支部自治体政策部を中心に見学をした。展示会には462社・1548団体の規模で地球温暖化防止のた



motionは、3つの条件が揃った時に積込プレート(回転パネル)をストップさせるものである。条件①は、バックアイカメラの画像から検出エリア内の人物の頭部周辺または指定色を検出・追跡する。条件②は、検出物が画像上の危険エリアに進入したかどうかを判別する。条件③は、積込プレートの位置が検出物を巻き込む危険区間にある。これらの条件を瞬時に判別し巻き込まれ被害を軽減するものである。しかし、Smart eye motionの認識性能・制御性能には限界があり、周囲の明るさや雨・雪などの天候、カメラレンズの汚れの状況、人物がごみで隠れてしまう場合といった様々な環境・状況下において、性能が十分に発揮できないケースがあるとのことであった。廃棄物収集を行う者の安全を確保するために、ソフト・ハードの両面について議論を重ね実行していくことは強く求められていることであり、少しでも巻き込まれ被害のリスクを軽減させるためにも、職員一丸となって安全に対する取り組みを進めていかなければならない。

めの脱炭素化、国内外の新たな資源循環スキーム構築に資する最新の環境技術やサービスが集結していた。いろいろと興味深く勉強になる出展が多数あったが、その中から収集作業に係る特に興味を引くブースがあったので1つ紹介する。

新明和工業株式会社(本社・兵庫県宝塚市新明和町)のブースでは、ごみ収集時の巻き込まれ被害軽減装置「Smart eye motion」と呼ばれる装置が展示されていた。このSmart eye

支部自治体政策部は、2021年度活動方針に掲げる資源循環型・脱炭素社会の形成に向けた取り組みや情報を共有し、意見交換を行える部長会議の開催を目指すために、今後も講演会や学習会等に参加し、自治研とは何かを学びながら支部自治研活動を進めていく。

※今回の記事は新明和工業製「Smart eye motion」を宣伝・推奨等を行うことを目的としたものではありません。



### 分会だより

#### 宮前分会

No.212

### 分会だより

#### 堤根分会

No.213

皆さんこんにちは。宮前分会です。安全衛生委員会と分会安全部を中心とした新たな取り組みとして、昨年度に安全作業要領に基づき、動画を作成しました。乗車から始まり、バック誘導、巻き込み等のDVDは新人研修、所内安全研修で視聴してもらい、所全体で共有したところです。職員が演出していることもあり、皆さん真剣に観ている姿もあり、なかなかの好評でした(笑) 昨年度、退職された職員からは、記念品として欲しいと、せがまれました。

また、今年は10人の新規職員が入り、その内9人が収集班です。現在、中型2車しかない中、新人研修で3人乗りが出来ない為、各班で中型現場を作り、人数を半分に分け構内研修、現場研修と半日交代で4月20日まで行いました。5月現在は、立派に独り立ちして活躍しています。

最後に、コロナ禍が続く中で歓送迎会等もここ2年行っておらず、もっぱら家飲みの人々が大多数を占めている今日この頃ですが、引き続き感染症対策を行って、仕事に、遊びに頑張ってください。

こんにちは堤根分会です。夏が間近に迫ってくるのを感じ、慌てて冷却塔の清掃に取り掛かりました。冷房の試運転も終え、あとは夏を待つばかりのわれわれですが、みなさまの職場ではいかがでしょうか。

御存じの方も多いと思われませんが、堤根処理センターは今年度をもって約40年という長い運転期間を終える予定です。最後の1年ということもあり、施設の老朽化に伴うトラブルに職員一同で取り組み一方で、立つ鳥跡を濁さずという言葉にもあるように、職場内に点在している物の片付けや書類の整理に日々邁進しています。倉庫や炉室に溢れる物・物・物。これを機会に今一度整理整頓を心がけていこうと思えました。

施設の運転停止がそのまま終わってしまうわけではもちろんありません。むしろ設備が停止してからが後片付けの本番であり、各分会の皆さまに御協力を頂く事態がたびたび発生するかと思えます。そんな堤根分会にこれからも御協力の程よろしく申し上げます。



自作DVDを活用し研修



整理整頓で作業効率向上

直営をよびこえる

仲間達 (369)

川崎分会



- ① 年 齢：58歳
- ② 入庁年度：1998年度
- ③ 分会役：なし
- ④ 職 種：業務職
- ⑤ 業務内容：生活環境推進業務
- ⑥ 趣味、最近ハマっている事：映画鑑賞・食べ歩き

今回紹介する仲間は、川崎分会のXXXXさんです。XXさんは生まれは福岡県、育ったのが川崎で、幼いころはまだ発展していない川崎の町を友達と楽しく走り回っていたようです。食べ歩きが好きだこの事ですが、じつは嫌いな物も多く好きなものばかり選んで食べているそうです。食べ歩きのコツは頼んだ物は完食することだ！と熱く語っておられました。映画鑑賞が趣味とのことなのですが、最近は何かが悪く1回観ただけでは内容が頭に入らなくて、なんと同じ映画を2回観るとこれもまた熱く語っておられました。定価で観てないかちよっと心配ですね。ベネフィット使ってくださいね。

推進業務は面倒なこともあるが、出前ごみスクールで子供たちの笑

顔を見るのが楽しいとこれもまたまた熱く語っておられました。嫌いなものも食べて体に気を付けて下さいね。

直営をよびこえる

仲間達 (370)

臨港分会



- ① 年 齢：35歳
- ② 入庁年度：2013年度
- ③ 分会役：なし
- ④ 職 種：電気職
- ⑤ 業務内容：ごみ焼却処理施設維持管理
- ⑥ 趣味、最近ハマっている事：サイクリング・漫画等



岐阜県と長野県をまたぐ乗鞍岳(のりくらだけ)

皆様、日々の業務お疲れ様です。配属されて早2ヶ月経とうとしておりますが、調整事が多く、改めてごみ処理には大勢の皆様協力で成り立っているのだと、肌をもち感じているところです。まだ慣れないことが多々ありますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願っています。

さて、掲載させて頂きました写真は、乗鞍岳にロードバイクで登った時の1枚です。乗鞍観光センターからスタートし片道約21km、約1200m上昇します。ここは、自動車の通行制限により、のびのびと走りながら、絶景の景色を楽しめるので、おすすめです。また、初心者の方でも乗鞍観光センター等で電動Eバイクのレンタルがあり、エクササイズ感覚で登ることが出来ますよ。妻が利用した結果、すました顔で私をスイスイと抜き去って行きました。(笑) 下った後は、乗鞍観光センター付近に乳白色の硫黄泉な公衆温泉で、疲れを癒せますし、周辺にキャンプ場や宿泊施設もありますので、夏の避暑を兼ねて足を運ばれてはいかがでしょうか。

隣にいる仲間を想う

在日外国人と日本人は国籍・民族を超えていけるか

第38回

林慶一

●それぞれの闘い方がある  
 社会人二年目の受難 その6

約束の時間よりだいぶ早めに到着したヨンスは、改札を出てすぐに見えるロータリーの方へ歩いていきました。Y駅は小さな駅でしたが、日本でも有数の高級住宅街がある最寄り駅のひとつなので小綺麗なたたずまいでした。ロータリーには、銀行や学習塾、飲食店などが並び、さらに地元の商店街が続いているようでした。普段、川崎駅を使っているヨンスからするとY駅は上品すぎて落ち着きませんでした。駅周辺をひとまわりして、再び改札へ戻るとまだ約束の五分ほど前でした。すると後ろからいきなり肩をたたかれ、振り向くと社長がいてびっくりしました。間近で見ると社長はやはり貴族があり圧倒されます。ヨンスが慌ててあいさつをする、社長は、ペコペコしているヨンスを制して、近くに旨い寿司屋があるから行こう、とすた

すた歩いていきました。ヨンスの月給では入るのにためらってしまうような高級寿司店の座敷で、ビールを飲み、寿司をつまみながら、社長はヨンスに家族のことや休日の過ごし方などを聞きました。話しかけるのは社長の方ばかりで、ヨンスはほとんど受け答えばかりでした。食事がひと段落すると、社長は咳払いを一つして、本題に入りました。

「今から話すことがキム君の聞きたいことなのかどうかはわからないが、現在の人事に関する自分の考え方を話す。人事異動はなぜ必要なのか大きく分けて三つある。一つは事業方針のため、次に組織の成長のため、そして社員の成長のためである。キム君を営業部に配属させず制作部にしたのは、事業方針のためだ。優プロ(優光堂プロセス株式会社)は将来、韓国に支店を出す計画がある。韓国の支店は製版の工場として機能させるので営業部門は不要だ。キム君は韓国の支店に

行ってもらう予定だから制作部門で頑張ってもらいたいということだ。韓国に支店を出せば、それは会社の成長につながるから組織の成長ということになる。キム君が韓国の支店に行けば、キム君自身の成長、すなわち社員の成長につながる。」と話しました。

ヨンスは社長の話の意図がよく分かりませんでした。今聞いた話はおそらく役員しか知らないような事業計画なのでしよう。初めて聞く話でした。

「次に、システムのメインオペレータの件だが、部署の責任者やリーダーというのは、うちはやはり日本の会社だから日本人が適任だと判断した。だから外国人のキム君には…」

ここでやっと社長の話していることが少しわかってきました。しかしヨンスは話の途中で何も聞こえなくなっていました。「これはおかしい」「差別だと思っ頭の中で抗議の言葉がぐるぐるまわりました。しかし、それは頭の中でヨンスは実際に声を出すことができませんでした。(つづく)